

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

基本情報技術者試験 平成 24 年度春期試験の出題傾向分析について

日頃は、FOM 出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

4 月 15 日(日)に実施されました基本情報技術者試験・平成 24 年度春期試験の出題傾向を分析いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 午前問題の出題傾向

今回の春期試験のカテゴリ別、問題形式別の出題傾向は次のとおりです。

※参考までに、平成 23 年度特別試験・秋期試験の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	出題数		
		H23 特	H23 秋	H24 春
テクノロジ系	基礎理論	9 問	13 問	12 問
	コンピュータシステム	18 問	15 問	16 問
	技術要素	17 問	15 問	18 問
	開発技術	6 問	7 問	6 問
テクノロジ系小計		50 問	50 問	52 問
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	4 問	4 問	3 問
	サービスマネジメント	6 問	6 問	5 問
マネジメント系小計		10 問	10 問	8 問
ストラテジ系	システム戦略	4 問	6 問	3 問
	経営戦略	6 問	5 問	8 問
	企業と法務	10 問	9 問	9 問
ストラテジ系小計		20 問	20 問	20 問
全合計		80 問	80 問	80 問

●問題形式別

問題形式		出題数		
		H23 特	H23 秋	H24 春
用語	用語の説明や関連する用語を選択する問題	35 問(44%)	30 問(38%)	26 問(33%)
事例	具体的な事例に基づいて解答する問題	31 問(39%)	35 問(44%)	41 問(51%)
計算	数値や計算式を求める問題	14 問(18%)	15 問(19%)	13 問(16%)
合計		80 問(100%)	80 問(100%)	80 問(100%)

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 午後問題の出題テーマ

今回の春期試験の午後問題で出題された取り扱いテーマは次のとおりです。

※参考までに前回の秋期試験の出題テーマも記載しています。

午後試験の分野		選択 / 必須	出題テーマ	
			H23 秋	H24 春
コンピュータシステム	ハードウェア	7 問中 5 問 選択	A/D 変換	浮動小数点数
	ソフトウェア		(出題なし)	コンパイラの最適化
	データベース		従業員データベースの設計と運用	社員食堂の利用記録 データベースの設計と運用
	ネットワーク		ネットワークの構築	データ転送時のフロー制御
情報セキュリティ			情報セキュリティにおけるリスク	(出題なし)
ソフトウェア設計			書籍の卸売業者の受注システム	受験者数の集計リスト作成
マネジメント	プロジェクトマネジメント		プロジェクトの要員計画	設計工程での進捗管理
	IT サービスマネジメント		(出題なし)	(出題なし)
ストラテジ	システム戦略		販売ルート別の売上及び市場の分析	(出題なし)
	経営・関連法規		(出題なし)	正味現在価値による投資採算性の評価
データ構造及びアルゴリズム		必須	代入文の処理	ビットの検査
ソフトウェア開発	C	5 問中 1 問 選択	循環小数の出力	会議時間の調整
	COBOL		受験申込ファイルの集計及び整列	遊園地の入園者情報の集計
	Java		住所録管理プログラム	試験の成績管理
	アセンブラ		除算と2進10進数 文字列変換	数字列の加算
	表計算		社員の基本給及び賞与計算	図書管理及び図書推薦

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

3. 試験分析

今回の春期試験では、応募者数が大幅に減少しました。

前年度は震災の影響で応募者数が減少しましたが、それをさらに下回っています。

年度	春期	秋期	合計
平成 21 年	90,752 名	107,800 名	198,552 名
平成 22 年	92,108 名	100,113 名	192,221 名
平成 23 年	(特別)88,001 名	82,090 名	170,091 名
平成 24 年	75,085 名	—	

新試験移行後、難易度は次のような推移となっています。

今回の試験は、午前問題・午後問題ともに、例年並みの標準的な難易度でした。

回数	試験	難易度	合格率
1 回目	H21 春	やや難しい	27.4%
2 回目	H21 秋	やや易しい	35.4%
3 回目	H22 春	標準的	22.2%
4 回目	H22 秋	標準的	23.4%
5 回目	H23 特	やや難しい	24.7%
6 回目	H23 秋	標準的	26.2%
7 回目	H24 春	標準的	未公開

【午前問題】

シラバス(V1.0)全体から幅広く出題される傾向、過去問題からの流用が多い傾向は、これまでと同様です。

また、シラバス(V1.0)に記載されていない新出用語の問題が 1 割程度、計算が複雑で時間がかかる問題、深い考察力を要する高度な問題が 1 割程度出題されていますが、その比率もこれまでとほぼ同様です。

シラバス(V1.0)に記載されていない内容として、「クラウドコンピューティング」「A/D 変換でのデータ量の計算」「ポリゴン」「ディレクトリトラバーサル攻撃」「IT ポートフォリオ」などが出題されています。

【午後問題】

「ソフトウェア開発」の選択問題のうち、「C」「COBOL」「アセンブラ」は標準、「Java」はやや難しい、「表計算」はかなり難しいと言えます。

「表計算」の問題は、問題文が長文化し、問題そのものも難易度が上がっていく傾向にあります。

前回試験でマクロが 1 問出題されましたが、今回試験では 2 問に増えています。

4. 当社テキストの今後の提供予定について

2012年5月22日(火)にIPAから発表(※)されましたとおり、情報処理技術者試験の出題範囲、およびシラバスは、V2.0に改訂されました。

当社では、現在提供中の基本情報技術者試験対策教材について、シラバス V2.0 への対応を検討中(提供時期は未定)です。

※シラバス改訂に関する詳細は、下記URLよりご参照ください。

2012年5月22日IPAプレスリリース:<http://www.ipa.go.jp/about/press/20120522.html>

以 上